## JavaScript の正規表現

## 正規表現

- \* 直前文字の 0回以上の繰り返し
- 直前文字の1 回以上の繰り返し
- (?) 直前文字の○ □ or1 回の出現
- 任意の1文字

not greedy
\*?,+?,?? 条件を満たす
最も短い表現にマッチ

- 数字以外の 1 文字 [^0-9] と同じ
- 数字 1 文字 [0-9] と同じ
- **\s** ホワイトスペース
- √W 英数字と \_ 以外
- w \_ を含め、すべての英数字 [A-Za-z0-9\_] と同じ
- **[0−9]** 範囲指定。[^0-9] で否定形 他にも [A-Za-z] など
- ^ \_ \$ 行頭(^)、行末(\$)

## 正規表現のパターン定義

### RegEXPのメリッド

var result = pattern.test(target);
var result = pattern.exec(target);

# Stirng オブジェクトの メソッドで RegExp を使う

var result = targetString.replace(pattern,' word' ); var result = targetString.match(pattern); var result = targetString.search(regExp);

A|B|CでA or B or C

[n] 直前文字の n 回の繰り返し

flag

i : ignore case 大文字小文字を無視

g:global 複数箇所でマッチ

m:muitiline 複数行にわたるマッチ

行頭行末を検出できる

#### メソッド

test : target がマッチしたら true

マッチしなかったら false

exec: マッチした結果を配列で返す

次の検索は、

RegExp.lastIndex から始める

## String メソッド

replace: targetStringが pattern に マッチしたら word で置換

match: pattern が g フラグを含むと マッチのすべてを含む配列を返す g フラグが含まれないと exec と同じ結果を返す

search: マッチしたら targetString 内で 正規表現が見つかったインデックスを 返す

マッチしなかったら -1 を返す